神奈川県議会議員

うめざわ裕之 県政レポート 第20号

発行所
神奈川県議会議員
梅沢裕之事務所
〒221-0822
横浜市神奈川区西神奈川2-5-18
TEL／045-413-9008
FAX／045-413-9003

速報 第3回定例会報告

平成29年9月8日～12月21日

神奈川県議会平成29年度第3回定例会は、来年4月の組織再編に向けた条例改正案など、議案44件を可決・同意し12月21日に閉会しました。

また、意見書では「道路整備に必要な予算確保を求める意見書」「食品衛生管理の国際標準化を求める意見書」などが可決されました。

大幅な組織再編も役割の継承に注視を

今定例会のトピックスは、局の統合・新設を含む局設置条例の改正案が提案されたことです。その中で最も大きな話題が県民局の廃止です。

県民局はこれまで消費生活や子ども支援、文化事業など県民生活に直結する施策に取り組んできた部局です。一方で今回の組織再編により、「福祉子どもみらい局」や「国際文化観光局」の新設が決まりました。

効率的な施策運営を行うための組織再編の必要性は、理解するところですが、県政の諸課題に対応し県民サービスの向上を目指すことを第一に考えた体制の構築がなにより重要です。

県民局が担ってきた役割が確実に継承され、県民サービスに支障をきたすことのないよう、しっかり注視して参ります。

有害サイト等の閲覧フィルタリングを

青少年のインターネット対策強化のため、県では有害サイトなどの閲覧を制限するフィルタリングの利用促進に乗り出すことになりました。

背景には、座間市で10代の女子高生を含む9名の遺体が発見された事件があり、青少年がスマートフォンなどの利用により犯罪に巻き込まれるケースを未然に防ぐための対策となります。

五輪に向け、県の準備着々

自民党代表質問で取り上げ、知事が答弁する中で、東京五輪セーリング競技の焦点となっていたレースエリア案が明らかになりました。

これにより漁業活動への影響が最小限に抑えられる見通しであるほか、約700艇のディンギーの移動先が茅ヶ崎漁港の敷地を利用することも決まりました。

台風21号により区内でも大きな被害

10月23日、超大型で強い勢力で静岡県御前崎付近に上陸した台風21号。県内には大雨・洪水・暴風・波浪警報に加え高潮警報が発令され、所により一時間に50ミリを超える非常に激しい雨を観測しました。

神奈川区内でもけが人が出た他、海沿いの浦島町・子安通・新町で床下浸水がありました。また栗田谷・松見町ではがけ崩れが発生し、住宅の損壊も見られました。栗田谷の一部には避難勧告が出され、住民生活に大きな影響が生じました。

また、2020年五輪大会のヨット会場となる江の島の港湾では、高潮・強風の影響によりアスファルトが剥がれ、停泊中のヨットも破損しました。

被害を受けた県管理の港湾・河川施設の復旧のため、約4億円が11月補正予算として計上され、第3回定例会で可決されたところです。

近年、毎年のように日本各地で大規模な風水害が発生しています。それらの教訓を踏まえ、県では「地域防災計画・風水害等災害対策計画」を修正（7月）、また、土砂災害警戒区域の指定、河川の浸水想定区域図の公表、避難勧告等の情報を迅速に伝える「Lアラート」の運用など、対策の充実を図ってきました。

お一人お一人が危険を回避するために備えることに加え、県としても人命第一とし、更に被害を最小限にとどめることをめざし、あらゆる整備を進めて参りたいと思います。

「安全・安心な暮らし」に万全の態勢を

神奈川県議会議員として、常に念頭にあるのは、「安全・安心な暮らしの実現」です。一方、災害、犯罪、事故、病気やけが・・・様々な要因が安全・安心な暮らしを脅かしているのも事実です。

平成29年度、私は安全・安心を守る最前線ともいえる防災警察常任委員会に席を置いています。この県政レポート20号で取り上げた内容を見ていただいてもお分かりの通り、台風による被害、特殊詐欺（オレオレ、還付金詐欺等々）の被害など、早急に対策を打つべき重大な案件が発生しています。被害を最小限にとどめ、更には未然に防ぐための対策・施策を、常に先手先手で打ち出して参りたいと、改めて意を決した次第です。

また自助・共助の力が十分に備わり、公助が的確に機能するよう、万全の態勢づくりに、力を尽くしてまいりたいと思います。

また「議員定数等検討委員会」の委員長として平成31年に予定される県議選に向け、議員の定数・選挙区等について検討を進めています。

より分かりやすい県議会、開かれた県議会を実現するため、そして何より県民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、最大限の働きができるよう改革の歩みを一歩一歩進めてまいる所存です。

本会議場の全景（平成29年12月・第3回定例会の様子）

議会改革の一つとして、平成 28 年第 3 回定例会より本会議場に対面演壇が設置された他、前面左右にスクリーンも設けられました。

スクリーンには審議の状況や資料などが映し出され、より分かりやすい本会議場となりました。

社会問題対策特別委員会視察報告

平成 29 年度、私が所属する社会問題対策特別委員会では、子どもの健全育成、高齢者支援、米軍基地問題、地震・災害対策、交通安全対策について調査する役割を担っています。

当特別委員会では、11 月 8 日から 10 日にかけて広島・愛知・滋賀をまわり、主に災害対策及び高齢者支援に観点を置いて視察を実施いたしました。

広島 土砂災害発生現場

平成 26 年 8 月、死者 74 名を出す大規模土砂災害が発生した広島市では、その後様々な対策に乗り出しました。

神奈川県でも県内のほぼ全域に土砂災害警戒区域の指定箇所があり、これまでも積極的な防災・減災施策を実施していますが、この度の広島市での視察を活かし、県民の更なる安全安心な暮らしの確保に取り組んで参りたいと思います。

＝広島市の主な取組み＝

- **防災情報共有システム…**
  10 万人に一斉に防災メールを即時送信できる体制に加え、要支援者へ迅速に周知するため対策を進める
- **堰堤の設置…**
  土石流を受け止めるダム（堰堤）を多数設置、更に恒常的な管理･改良も行う。
- **市民防災士の活用…**
  災害時・防災訓練時に中心的な役割を担う市民防災士の資格取得を積極的に進めている。

堰堤が築かれた広島市安佐南区の土砂災害現場で説明を受ける

愛知 藤田保健衛生大学

藤田保健衛生大学（愛知県豊明市）では、糖尿病に関するビッグデータの活用研究が行われており、高齢者の健康支援や糖尿病対策をすすめる本県の施策展開にとって参考となるものでした。

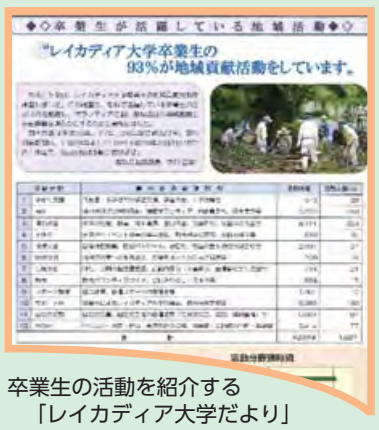
また、同大学では UR 都市機構・豊明市と協定を結び、豊明団地内の高齢者の医療サポートや子育て世代の育児相談にも取り組んでいる他、大学職員・学生が団地に居住することで団地の若返り化・活性化に寄与しています。さらに、自動車メーカーと協力して行なう高齢者支援のロボット研究も興味深いものでした。

本県も地域住民や企業などの民間活力を利用し高齢者支援や育児サポート支援を進めており、大いに参考に値する調査となりました。

滋賀 レイカディア大学

※レイカディア（LACADIA）は、湖（LAKE）とギリシャ語の理想郷（ALCADIA）を併せた造語

授業見学　卒業後の活動に関する、卒業生と在校生の連携について説明を受ける



卒業生の活動を紹介する「レイカディア大学だより」

1978 年滋賀県老人大学校として開校した同校は「高齢者の社会参加への意識の高まりに応え、高齢者が新しい知識、教養と技術を身につけ、地域の担い手となるよう支援する」ことを目的としています。

園芸・陶芸・びわこ環境・北近江文化・健康づくりなどの学科が設置され、これまで約 5,800 名の卒業生を送り出してきました。その 9 割以上が自治会活動や福祉活動、環境保全活動、また当校の運営サポート等に関り、まさにシニア世代による地域リーダーが育成され社会に貢献しています。

神奈川県でも現在、高齢者の生涯学習支援及び社会活動推進に積極的に取り組んでいます。財政的な問題等課題はありますが、当大学の考え方は、今後の施策に大変参考になるものでした。

だまされないで!!　特殊詐欺（オレオレ・還付金等）

警戒警報発令中!!

区内発生件数は、前年比でなんと 3 倍超

神奈川区における平成 29 年 1 月～ 11 月末までの振り込め詐欺の被害総額は約 1 億 2,700 万円、発生件数は 65 件（昨年同期＝ 19 件）。

神奈川警察署でも独自の対策も講じてはいますが、犯人は次々と新しい手口を繰り出し、深刻な状況が続いています。

オレオレ詐欺被害には、こんな傾向が

（平成 29 年 1 月～ 10 月・神奈川県警）

発生曜日…**水曜日**＝ 23.5%　発生時間帯…**午後 2 ～ 4 時台** 45.6%
被 害 者…**70 代**＝ 46.2%　**80 代**＝ 43.7%　男女比…**女性**＝ 86%
交付形態（どうやって騙し取られたか）…**手渡し**＝ 90.7%
※振替・振込＝ 8.6%
詐欺の口実…**警察官等を騙ってのキャッシュカード手渡し**＝ 38.7%
債務・保証人等＝ 18.3%　鞄・財布の紛失等＝ 18.5%

絶対にカードを渡さない、暗証番号は教えない

従来の「オレオレ詐欺」や「還付金詐欺」に加え、最近増加しているのが、警察官や銀行員・カード会社と偽り、

「あなたのカードは偽造されています…」
「カードの交換が必要…」
「偽造カードが使われ、このままではあなたも罪に…」
「カードを渡してもらえば手続きはこちらでします…」
「交換手続きのため、暗証番号を教えて…」

など、言葉巧みにキャッシュカードと暗証番号を手に入れるのです。

不審な電話・・・迷わず警察に通報

詐欺電話では、不安をあおる言葉や時間の猶予を与えない手口が多く使われます。お金やキャッシュカードに関する電話はそのまま信じず、まず詐欺を疑うこと。あわてずに、家族に確認し、警察に相談してからでも遅くはありません。振り込んだら、カードを渡したら、もう終わり！決してお金は戻りません。

あなたの通報が、被害防止につながります

怪しい電話！振り込め詐欺かな？？と、思ったら、

すぐに警察へ！ 441-0110（神奈川警察署）

↓

あなたの通報は県警本部で集約し、詐欺電話が集中する地域が特定されます

↓

特定地域の高齢者世帯へ注意喚起の電話・訪問
〃　金融機関へも注意喚起

↓

被害を未然に防ぎます